

子どもの夢を育む 教育の推進を



前島 広紀 議員
動画視聴

問 11月3日に、市議会本会議場において、霧島市青少年議会が開催され、23名の中学生から短大生までの議員が、身近な課題について提言を述べた。全議員の充実した提言内容に感動した。あの議員は、卒業後に本市で働くことを条件とした給付型の奨学金制度を設立し、本市で働く若者の数を増やすことが必要だと訴えた。経済的な理由で進学を断念しようと考えている人も、給付型の



青少年議会

規制緩和や許可 による地方創生の 推進を



植山 利博 議員
動画視聴

問 一般廃棄物の処分や運搬の許可、認可外の保育所への対応、公共事業の発注や業務委託などで、地方創生を強力に推進すべきではないか。

答 一般廃棄物の処分業者は、新規の許可を行っている。収集運搬は、新規の許可は認めていないが、一定の品目に限り、今後の社会情勢等を見極め、許可を検討する。
平成28年4月現在、認可外の保育施設は、13施設あり、うち9施設に運営補助を行っている。待機児童の解消や多様な保育ニーズに対応する認可外の保育施設にも、今後

奨学金を利用することで進学後、専門性を身に付けることができる。その後、本市に就職することで、地域が盛り上がり、結果として地域が育っていくのではないかとの内容であった。

問 今回、青少年議員の提言を受けて、本市の将来を担う若者の市外流出を止めるためにも、このような奨学金制度の創設はできないか。

答 給付型の奨学金制度の創設、あるいは、奨学金の返還金の支援をしていくことは、有効な政策と考えられるので、今後、検討していきたい。



青少年議会

その他の質問
・既存ストック活用による小さな拠点等の形成について

援を続けたい。

事業発注や業務委託は、競争原理を働かせつつ、地元業者にも配慮し、中小事業者の育成、中山間地の活性化、地元雇用の確保、地元産材の活用に取り組んでいる。

生活道路や通学路の安全 対策の推進を

問 生活道路や通学路の安全対策についての見解を問う。

答 今後、幹線道路の整備で、交通事情も改善されるが、市街地全域の交通渋滞の解消には、至っていない。平成24年度以降は、PTA、警察及び国・県・市の道路管理者で、通学路安全推進会議を年2回開催し、通学路のカラー舗装や防護柵の設置など、計画的に実施している。今後も、適切な安全対策を講じていき

塩浸地区メガソーラー建設計画は大丈夫か



中村 満雄 議員
動画視聴

問 塩浸地区に中国資本のメガソーラー建設計画がある。市有地の売却、農地転用申請の承認など、市は、建設を容認したように見える。市内で進行中のメガソーラー建設事業、計画地の地形的特長など、市が認識している進捗状況を問う。

答 市内で進行中の大規模事業は5件。当該計画地の北、西、南は、天降川と国道223号に囲まれ、国道と計画地との高低差は約85m。西側には、新川溪谷公園や観光資源として、森林景観の整備を行っている市有林がある。南側は、保安林で山腹崩壊危険地域に指定さ

地域まちづくり事業の実施状況は



中馬 幹雄 議員
動画視聴

問 各地区自治公民館から要望された、まちづくり計画で、緊急度Aの実施状況を示せ。

答 平成25年度は333件中178件で53.5%、26年度は409件中187件で45.7%、27年度は574件中213件で37.1%である。

問 地域からの要望は、一番重要な案件のみであるが、財源を理由に、上から目線で「してあげる」という感覚があるのではないか。行政の目の届かないことを提示していることを受け止め、せめて50%以上の実施はできないか。市民を第一とした取組で、住みよいまちづ

れ、昭和62年に予防治山事業を実施。計画について、事業者から相談があり、計画書の提出、説明会開催を求めた。市有地の売却、農地転用申請を承認したとしても、メガソーラー建設を容認しているわけではない。

小学校でのフッ化物洗口 事業への疑問

問 フッ化物洗口のリスク説明文書の配布状況、論文提示要請に対する歯科医師会の回答、フッ素化合物の認識を問う。

答 説明文書に、薬剤の文書を添付する。歯科医師会は、特定の論文を根拠にしていない。独自の効果検証は、実施しない。自然界に多く存在するのは、フッ化カルシウムであり、洗口薬剤とは、同じものではない。薬剤のフッ化ナトリウムの毒性については、理解していない。提示の英文論文は、歯科医師会に渡す。

くりを推進することで、本市の人口対策にも繋がらないか。

答 前年度の未実施分や新規分が増加しているため、実施率が低下しているが、毎年度200件近く実施している。今後も、各地域から上がってきた声を真摯に受け止め、限られた予算の中で協議しながら進めていく。

防犯灯のLED化の実施 計画の期限設定は

問 「議員と語るかい」でも出る問題で、防犯灯の電気代は、各地区自治公民館の大きな負担となっている。今のやり方では、長期化する。5年間での実施計画はできないか。

答 地区自治公民館長会でも指摘を受けている。具体的な年数は示せないが、明るく安心・安全なまちづくりのため、協議を更に進めていく。

学校給食献立やストローなし牛乳の現状



平原 志保 議員
動画視聴

問 食育の観点から見ると学校給食の献立に問題はないか。また、地産地消の数値目標と課題はどうか。

答 学校給食法に基づき、児童・生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準を満たす栄養価及び食品構成を考慮し、担当栄養教諭が、多様な食材をバランスよく使って献立を作成している。平成32年度までに、国では、地



霧島市立医師会医療センターについて



池田 綱雄 議員
動画視聴

問 市民から、かかりつけの病院が医療センターに予約してあるから、朝一番に行くように言われて9時頃行ったが、レントゲンを撮るのに11時半までかかったと苦情を聞いた。診療時間や待ち合い時間が長い理由は何か。また、市民に信頼されるための取組はできているのか。

答 医療センターは、比較的症狀の重い患者が多く、一人の患者が複数の診療科を受診するケースや、検査に時間を要する場合がある。引き続き、関係機関と連携を図りながら、市民の安心と信頼に込められるよう努めていきたい。

場食材ベースで30%、国産食材で80%、県では、重量ベース(おかずのみ)で70%以上の使用を地産地消の数値目標としている。市内産の食材は、可能な限り生産者が直接納入している。地場産利用を高める上で、一番の問題は量の確保で、生産者団体を組織化し、納品してもらえる仕組み作りが必要と考える。

問 現在の牛乳の提供方法で、なぜストローがないのか。

答 いつからストロー使用を止めたのかは、分からない。お金の問題ではないと思う。エコロジーやリサイクルが言われ始めた頃と推測する。牛乳を一括購入して取り仕切るのは、県の学校給食会なので、そこに伝えたい。

その他の質問
・霧島市の審議会について

道路行政について

問 平成29年4月に、しらさぎ橋が完成すると、新川北線は一部開通されるのか。開通した場合、交通量の想定と、自衛隊北東の直角カーブは、早急に改善すべきではないか。また、200人以上が利用する天降川小学校前の信号機は、開通に間に合うのか。

答 4月に予定通り開通する。開通後は、かなりの交通量を想定している。自衛隊の急カーブについては、土地の買収、借地、両面から交渉したい。天降川小前の信号機については、要望書を提出しており、交差点の完成までには、設置できるよう強く要望したい。



しらさぎ橋